

さ たけしよざんひつ こざんふうけいず  
佐竹曙山筆 湖山風景図

- 1 種 別 有形文化財（絵画）
- 2 名称及び員数 佐竹曙山筆 湖山風景図 1幅
- 3 形 状 紙本著色 軸装
- 4 寸 法 縦16.0cm、横24.5cm
- 5 制 作 者 佐竹曙山
- 6 制 作 年 代 江戸時代後期
- 7 所 在 地 秋田市中通二丁目3番8号 秋田市立千秋美術館
- 8 所 有 者 秋田市
- 9 説 明

実景によるものとみえるが、小田野直武が所持していた西洋風景の銅版画に同一構図の作品があり、これをもとに日本の風景に置き換えて描いたものと考えられる。近景に松、中景に街道と人物、遠景には湖の向こうに連なる山々が配される。陰影も細線を重ねる手法で描かれており、これは銅版画に学んだものとみられる。手本としたと考えられる作品はあるが、遠近法、陰影法を取り入れ、独自の作画を試みた意欲的な作品である。

制作時期については、軸木に「安永七年戊戌七月／出羽秋田久保田御張付師山本五兵衛拵之」と墨書されていたことから、安永7年頃である可能性が高い。

落款は画面右上に大きく「曙山画」の墨署と、朱文円印「Segutter vol Beminnen」の蘭語印が押されている。

### 参考

重要美術品認定「紙本著色湖山風景圖 佐竹曙山筆」 昭和11年（1936）9月12日

